

牛道春秋

駐在妻の欄

▼十二月とは思えない暖かな休日、主人と長男が大和町までサイクリングに行くことになりました。▼帰りについては、主人はダイエットのため自転車で帰ってくる、長男は私が車で迎えに行く、という算段にしました。▼出発前、主人が「大丈夫かな。」などと心配そうにしていたので、私が「5年生にもなれば大丈夫でしょ。」と言うと、主人は泣きそうな顔しながら「いやいや僕の体力が。」と情けないことを言ってきました。▼私は「いい大人でしようが。」と興ざめしてしまいました。▼そんなこんなで無事大和町に到着した2人でしたが、長男は「帰りも自転車で行く！」と言い出し、「腰が痛い。」だの「ケツが割れる。」だのブーブー言う父親をなだめすかして励まし、無駄に多い休憩に付き合いながらも無事に帰ってきました。▼主人は帰ってくると直ぐに寝てしまいました。▼主人は帰ってきたら長女は、それより前からずっと昼寝していました。